



【花粉症やアレルギー性鼻炎・結膜炎の推奨セット】

\*\*\*\*\*

CAP16 鼻炎・喘息（項目コード2440）

- 季節性抗原（空中抗原増加時期）  
スギ（2～4月）・ヒノキ（3～5月）・ハンノキ（1～5月）  
カモガヤ（5～8月）・ブタクサ（8～10月）・ヨモギ（8～10月）  
ガ（初夏・秋）・ユスリカ（初夏・秋）

- 通年性抗原  
ハウスダスト1・ヤケヒョウヒダニ・ネコ皮膚・イヌ皮膚  
ゴキブリ・カンジダ・アスペルギルス・アルテルナリア

検査項目 : CAP16 鼻炎・喘息  
検体量 : 血清1.2mL  
容器番号 : 1  
保存方法 : 冷蔵  
検査実施料 : 1430点  
検査判断料 : 144点（免疫学的検査）  
所要日数 : 3～5日  
基準値 : 0.34UA/mL以下

\*\*\*\*\*

参考文献

※1 耳鼻臨床94, 2001

2 子宮頸がん検診における細胞診とHPV-DNA検査について

子宮頸がんの原因は高リスク型ヒトパピローマウイルス（HPV）の持続感染であることが明らかにされています。日本産婦人科医会がん対策委員会ではこれまでの細胞診単独検診に加え、細胞診とHPV-DNA検査併用による子宮頸がん検診のリコメンデーションが2011年に発表され、細胞診とHPVともに陰性の場合は次回の検診は3年後を推奨しております。

昨今高リスク型HPVの中でも子宮頸がんを高率に発見される16型と18型HPVは高度異形成以上に悪化する率も高く且つ短期間で悪化する事も判明されてきました。色々な知見よりアメリカでは2012年の3学会による子宮頸がん検診のコンセンサスガイドラインでは16型、18型HPVの測定も加えたフローになっております。

Athena 試験（米国大規模臨床試験 N=47000人）では様々な知見が発表され、細胞診陰性でHPV 16型または18型陽性の女性と細胞診ASC-USで高リスク型HPV検査陽性の女性では、前癌病変が存在するリスクは同程度の可能性があり、同様に管理されなければならないことも判明されてきました。

2012年11月には2社より16型18型各々と12種のその他高リスクHPV一括を測定するキットが薬事承認されました。今後の臨床及び検診に活用されることが期待されております。

3 特定健診・保健指導、4月から HbA1c は「NGSP値」

2013年4月から特定健診・保健指導「NGSP値単独表記」の運用が開始されます。また、日本糖尿病学会は2014年度から日常診療でも「NGSP値単独表記」とする基本方針を公表しました。

HbA1cの日本糖尿病学会の運用計画フローはこちらをご覧ください。  
<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/HbA1c.pdf>

2010年に米国糖尿病学会が糖尿病の新診断基準にHbA1cを取り入れ、日本糖尿病学会も2010年7月から糖尿病の新診断基準にHbA1cを取り入れました。糖尿病の診断基準としてHbA1cの重要性が高まる中、米国を中心として諸外国ではNGSP値、日本ではJDS値という状況は好ましいものではありませんでした。こうした状況の中、厚生労働省「保険者による健診・保健指導等に関する検討会」では12年度の対応として「日常診療ではJDS値とNGSP値の併記」「特定健診・保健指導はJDS値」と決定しました。その後、13年度以降の対応として12年10月31日付の事務連絡で「13年度から特定健診・保健指導、事業主健診、人間ドック健診などはNGSP値」との方針を示しました。

日本糖尿病学会は13年度以降の日常臨床での取り扱いについて、「国際標準化運用計画」を公表し、「13年度はNGSP値単独表記・使用を推進。14年度以降はNGSP値のみ」とする基本方針を示しています。

4 KMLインフォメーション 1月～3月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行された「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用して頂ければ幸いです。

2013年 2月 4日 検査受託再開のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-0204.pdf>

2013年 2月 20日 検査一時受託中止のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-0220.pdf>

2013年 2月 28日 百日咳菌抗体（細菌凝集法）受託中止のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-0228.pdf>

2013年 3月 11日 喀痰細胞診・蓄痰容器変更のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-0311.pdf>

2013年 3月 15日 検査中止及び変更のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-0315.pdf>

2013年 3月 18日 HbA1c国際標準化への対応に関するお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-0318.pdf>

■ □ = = = = =



最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集／発行 <http://www.kml-net.co.jp/>  
株式会社 京浜予防医学研究所  
〒211-0042 神奈川県川崎市中原区下新城1-13-15

= = = = = □ ■